

平成 20 年 1 月 28 日

首都高速道路株式会社
代表取締役会長 長谷川 康司 殿
首都高速道路株式会社
代表取締役社長 橋本 鋼太郎 殿

川崎商工会議所
会頭 西岡 浩史

首都高速道路の距離別料金に関する要望

平素は、川崎商工会議所の事業活動につきまして、格別なご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、首都高速道路は、首都圏と全国を結ぶ交通・物流の中核として、経済インフラの大動脈を担い、川崎の経済活動や市民生活に多大な影響を与えております。また、激烈な国際競争を勝ち抜かねばならないグローバル社会が到来し、首都高速道路を始めとする高速道路網は、羽田空港再拡張などの基盤整備と広域的・一体的に拡充される必要があり、連携強化による相乗効果が、時間・コスト削減の効率向上に結びつくものと期待されます。

先般、貴社より公表された首都高速道路の距離別料金案は、不安定な受注・人材の確保難・後継者不足など、課題が山積のうえ、燃料価格急騰が追い討ちをかけている交通運輸業界の窮状に、さらなる大幅負担増を迫る非常に厳しい改定となっています。とりわけトラック・バス・タクシーなどの長距離輸送では、上限料金の利用頻度が高いため、脆弱な中小企業の経営に与える打撃は深刻で、事業存続さえ危ぶまれる事態であることは想像に難くありません。

さらに、長距離輸送は、安定した物資の供給・円滑な社会生活に寄与する、公益性を有しており、交通・物流に混乱が生じた際、滞りのないライフラインに支障をきたす懸念がされます。また、大型車が一般道路に流れることにより、新たな渋滞発生・安全性の低下・環境汚染が憂慮され、日本の国際競争力強化にも逆行します。

つきましては、趣意ご賢察のうえ、次の要望を致します。

- 1．上限料金・下限料金を引き下げるとともに、大口・多頻度割引の導入、深夜割引等の割引制度の充実を図られたい。
- 2．大都市圏高速道路の料金圏・運営主体から生じる利用者負担を軽減し、高速ネットワークの活用を図られたい。
- 3．利用者負担を軽減するために、道路特定財源の投入を検討されたい。

以 上